

東京のまちづくり

特集1 創造のランを作ってみよう！
【第19回夢の島子ども&おとな ラン大賞】

特集2 木造住宅密集地域を改善する、命を守るみち
～特定整備路線の整備推進～

特別特集 春夜の六義園 夜間特別観賞



粘土で作った創造のラン 2024年の作品



特定整備路線 補助第26号線(三宿)



整備後



春夜の六義園 しだれ桜のライトアップ(イメージ)

創造のランを作ってみよう！

第19回夢の島子ども&おとな ラン大賞

熱帯の植物ランは種類も多く、個性的な花をつけるものもあります。そんなランの花に想像を膨らませて、「こんなランのお花があったらいいな」という、世界に一つのあなただけのランをクレイ粘土を使って作ってみましょう。植物館内に制作ブースを設置します。申込不要で、子どもも大人も参加いただけるイベントですので、ご家族そろってぜひご来館ください。全ての作品を館内に展示し、こどもの部、大人の部に分け、優秀作品を選出し表彰します。今年で19回目をむかえる大人気のイベントです。

作品募集 2025年3月18日(火)～4月13日(日)

展示期間 2025年3月18日(火)～4月20日(日)



子どもも大人も参加可能



創造のランを作ろう



展示の様子2024年

展示場所	企画展示室
制作テーマ	世界にひとつだけの創造のラン
参加資格	子どもの部(小学生以下) 大人の部(中学生以上)
定員	200名 200作品 材料がなくなり次第終了とします。
参加費	300円(入館料別途)
申込	不要(期間中自由参加)
表彰	4月中に会場とHPにて発表

問合せ先



〒136-0081
東京都江東区夢の島2-1-2
電話 03-3522-0281
<https://www.yumenoshima.jp/botanicalhall>



身近になりつつあるコウノトリ

井の頭自然文化園 水生物館飼育展示係 田所夢衣

昔から絵図や書物に、松の上にとまったツルの絵がよく描かれていました。絵に描かれたのは、ツル(タンチョウ)に見間違えられたコウノトリです。タンチョウとコウノトリは見た目がよく似ていますが、決定的な違いは指にあります。前に3本、後ろ1本と指の数は同じですが、コウノトリは後ろの指が長いので、木の枝をしっかりとつかむことができます。一方タンチョウは、後ろの指が短いため、木の枝をつかむことができません。そのため、松の木の上に描かれた鳥はコウノトリであると言えます。

かつて、コウノトリは全国各地で見ることができた身近な鳥でした。明治以降、乱獲や農薬の使用によるエサとなる生きものの減少などが原因で、1971年に日本の空から姿を消しました。

コウノトリを守ろうと動物園や自治体が協力し、飼育下で繁殖させ、コウノトリを野外に放つ取組が行われています。コウノトリが暮らしやすい環境づくりも進められました。

こうした取組の成果により、一度は日本の野生下で絶滅したコウノトリが、今では476羽(野外個体数、2024年7月末時点、IPPM-OWS*)まで増えています。再びコウノトリが身近な鳥になる日もそう遠くないかもしれません。

井の頭自然文化園でも、コウノトリの飼育をしており、普及啓発に努めています。ぜひ間近で観察しに来てください。

*IPPM-OWS: コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル

動物園の“かお” 葛西臨海水族園 ファンボルトペンギン



昨年行っていた補修工事が終わり、2024年11月28日に「ペンギンの生態」エリアの展示が再開しました。広いプールで、ファンボルトペンギンがのびのび泳ぐ様子をご覧ください。

撮影日: 2024年11月28日